山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰受賞者一覧

	受賞者名（敬称略）	功　　績
平成１２年度	山形県婦人問題研究会 （団体）	昭和 54 年に発足後、身近な女性問題を調査・研究し、研究誌の発行を重ねながら、会員の中から数多くの人材を育成してきた。会長：徳永幾久
〃	沼野慈（めぐむ） （個人）	新庄市で「新庄・護美の会」等の地域活動グループを主宰し、国や県、市の各種委員を歴任。平成 10 年からは「山形創造ＮＰＯネットワーク」で活躍。　新庄市
〃	岡部恵美子 （個人）	「エキプ・ド・遊佐」の初代代表として活躍、女性の生活文化の講演会等を開催。国や県、町の各種委員を歴任。平成 11 年から「出羽庄内地域づくりグループサロン」専務理事。　遊佐町
平成１３年度	山形県婦人連盟 （団体）	昭和 20 年に設立以来、一貫して女性の社会的地位の向上と地域社会の発展に大きく貢献した。 会長：奥山玲子
〃	熊谷貴美子 （個人）	農業・農村に関する研究や実践活動など、農業分野における女性の参画促進に寄与した。元ミズ・コメットの会代表。県婦人問題研究会理事。　山形市
〃	鈴木カズエ （個人）	社会教育活動や更正保護活動などを通じて、青少年の健全育成、女性の地位向上に尽力した。県婦人問題推進懇話会委員や県更正保護婦人会連盟会長を歴任。　米沢市
平成１４年度	髙橋あき子 （個人）	地域社会において、女性がまちづくりに積極的に関与する男女共同参画社会の機運醸成に大きく貢献した。酒田市行政改革委員、酒田商工会議所女性会顧問。　酒田市
〃	冨田俊子 （個人）	「山形市男女共生センター検討委員会」の委員長などを歴任し、女性施策の推進に大きく貢献した。財団法人ソロプチミスト日本財団監事。　山形市
〃	東山昭子 （個人）	「鶴岡ウィメンズフォーラム」の代表として地域の女性ネットワークの育成に大きく貢献した。 山形県生涯学習文化財団理事、鶴岡市社会教育委員長。　鶴岡市
平成１５年度	ミズ・コメットの会 （団体）	平成４年に設立以来、男女共同参画を基本とした地域づくりや、女性の諸問題に関する認識と幅広い視野をもって女性の社会的地位向上に大きく貢献した。　会長：青木久子
〃	井上みやま （個人）	新やまがたひゅーまんらいふフォーラムの設立準備段階から女性問題の地域リーダーとして県内会員を指導し、調査研究活動を通して男女共同参画社会づくりに向け尽力した。　山形市
〃	水戸部浩子 （個人）	「山形の女」を執筆し、昭和５８年から 11 年に亘り８５人の女性を紹介、出版し女性の地位向上に尽力。酒田港「女みなと会議」座長として活発な活動を展開。　酒田市
平成１６年度	古田久子 （個人）	長年、料理家として県内の第一線で活躍し、女性の社会参画の先駆けになるとともに山形市の各種委員を歴任。平成 11 年から山形市女性団体連絡協議会会長として活躍。　山形市
〃	髙橋シン （個人）	長年、農業農村における女性の地位向上に尽力。平成 12 年 6 月には、県内では最初の農協理事に就任。平成 7 年から新庄市女性団体連絡協議会会長として活躍。　新庄市
〃	伊藤美代子 （個人）	女性情報誌「婦人やまがた」の編集局長などを歴任しながら、県内の女性活動を紹介し続けてきた。平成 12 年から「月刊ほいずん」の編集発行人として活躍。　山形市
平成１７年度	金子幸子 （個人）	県内女性の意識啓発、教育の振興等のために尽力し、男女共同参画社会づくりの各施策推進に貢献。新やまがたひゅーまんらいふフォーラム事業部長。　山形市
〃	髙橋せつ （個人）	婦人団体連絡協議会活動等を通して、女性の地位向上と住みよい地域づくりのために活躍し、女性の社会参画の指導的役割を果たした。　川西町
〃	阿部康子 （個人）	山形市女性団体連絡協議会の設立を始め、各種委員活動を通して男女共同参画社会づくりの機運醸成に貢献。山形短期大学教授、山形市教育委員。　山形市

	受賞者名（敬称略）	功　　績
平成１８年度	小関八重子 （功労者・個人）	教育現場における男女共同参画の意識啓発に努めるとともに、男女共同参画に関する調査研究や寸劇を通した啓発活動に尽力。劇団「さんかく・しかく」代表。　村山市
〃	佐藤スミ （功労者・個人）	川西町の女性学習グループ「ミズ・アカデミー」の設立に主導的に関わり、地域のリーダーとして男女共同参画社会づくりや女性の人材育成に大きく貢献。「まちかどショップダリヤ」代表。　川西町
〃	和田弥寿子 （チャレンジ賞・個人）	旧来「男の仕事場」とされてきた酒造業界において、県内 56 ある酒蔵の中で唯一の女性酒造家として活躍している。和田酒造合資会社に勤務。　河北町
〃	栗田和則・栗田キエ子 （チャレンジ賞・夫婦）	金山町杉沢地区に夫婦二人三脚で「暮らし考房」を開設し、各種体験や修学旅行の受け入れをするなど都市生活者との交流による新しい形の地域づくりを成功させている。　金山町
平成１９年度	髙橋京子 （功労者・個人）	東根市男女共同参画推進懇談会会長として、男女共同参画のまちづくりの推進に貢献。その他、国際分野や生涯学習分野など幅広く活躍。　東根市
	山形グリーンライフ女性の会 （チャレンジ賞・団体）	湧水・清水のガイドブック「ふるさとの森と水」の自費出版や市有林・国有林に「グリーンライフの森」を造成するなど女性ボランティア・森林ボランティアの先駆けとして活躍。　山形市
	県漁協女性部吹浦支部「元気な浜店」 （チャレンジ賞・団体）	経営の素人である漁村女性たちの起業により、道の駅鳥海ふらっと内に開設した地場水産物の直売所を軌道に乗せ、現在では地域振興の担い手として活躍。　遊佐町
	やまがた育児サークルランド （チャレンジ賞・団体）	県内の育児サークルのネットワークを作り、子育て中の母親等のニーズに応える活動を展開。また、行政との協働により、県内各地における子育て支援団体の発足に貢献。　山形市
平成２０年度	菅原啓子 （功労者・個人）	河北町女性団体連絡協議会会長（平成７年～現在）及び河北町婦人会会長（平成５年～現在）として、地域における男女共同参画社会づくりに向けた気運の醸成に貢献。　河北町
	庄司祐子 （チャレンジ賞・個人）	県内の女性起業家による「農場（農家）レストラン」経営の先駆者。都市と農村との交流を促進するグリーン・ツーリズム活動にも貢献。　鶴岡市
	新関さとみ （チャレンジ賞・個人）	平成 12 年に山形の漬物の販売を始め、平成 15 年には県内初となる「企業組合」を立ち上げ本格的に経営にチャレンジ。漬物のほか、山形の伝統的食文化を伝える活動も展開。　山形市
平成２１年度	菅野節子 （功労者・個人）	山形市女性団体連絡協議会会長として、地域における男女共同参画社会づくりに貢献しているほか、「全国男女共同参画宣言都市サミット in やまがた」実行委員長として全国に情報を発信。　山形市
	髙木　直 （功労者・個人）	多年にわたり山形県男女共同参画審議会などの会長として、県の男女共同参画計画の策定や改訂、男女共同参画推進条例の制定などに携わり、県の男女共同参画政策を牽引。　山形市
	子育てネットワークバルボンさん （チャレンジ賞・団体）	読み聞かせという身近な活動を柱に、行政との協働や、関係団体間のネットワークづくりを推進し、地域全体で子育てや生涯学習活動に取り組むまちづくりにチャレンジし活躍。　新庄市
平成２２年度	平由利子 （功労者・個人）	村山市男女共同参画推進協議会会長や、市の審議会部会長・副会長として、地域における男女共同参画社会づくりに貢献しているほか、「ふれあいいきいきサロン」の運営を通じ女性の社会参画に尽力。村山市
	高橋良子 （功労者・個人）	東根市女性初の教育委員・教育委員長として、長年にわたり教育現場における男女共同参画の推進に貢献しているほか、県や民間団体の委員・役員として幅広く活躍。東根市
	オープンハウスこんぺいとう （チャレンジ賞・団体）	乳幼児から高齢者まで、年齢や障がいの有無に関係なく施設内への受入れや、公民館利用による育児・介護支援を通じた世代間交流の場の提供など先駆的に活躍。市との協働で地域全体での子育て支援にも取組む。新庄市
平成２３年度	井上聡子 （功労者・個人）	産婦人科医師として、思春期から高齢者まで、女性の健康について気軽に相談できるクリニックを開設し、健康講座の実施や、県内の学校への出前講座など、生涯を通じた女性の健康支援に尽力。山形市
	佐藤徳江 （チャレンジ賞・個人）	鮭資源の増大、ふ化放流事業の推進や、鮭加工品の製造開発部門を立ち上げ、川鮭を加工することで付加価値を付け、地域の特産品として県内外に販売網を拡大するなど、地域の発展に貢献。遊佐町
	にこっと （チャレンジ賞・団体）	つどいの広場などの子育て支援にとどまらず、子育て中の母親が手作りした小物を恒常的に展示・販売する「ニコママショップ」を開設し、女性の社会参加や自立を促すなど先駆的に活躍。酒田市

	受賞者名（敬称略）	功　　績
平成２４年度	伊藤眞知子 （功労者・個人）	山形県男女共同参画審議会会長として、県の男女共同参画政策を牽引。平成２３年３月策定の山形県男女共同参画計画の改訂に携わるなど、県の男女共同参画の推進に大きく貢献。東京都
〃	ＭＡんＭＡくらぶ （チャレンジ賞・団体）	子育て情報誌のない時代から、母親の視点で子育て情報誌を発行。子育てしながら母親達が社会参画に取組むなど他の団体のモデルとなる先駆的な取組みを展開。　山形市
〃	国際平和まつり－YAMAGATA （チャレンジ賞・団体）	定住外国人の女性たちが、語学教室の開催、地域イベントへの参加、「婚活」などの新しい地域課題に取組むなど積極的に活躍。外国人の地域社会への参画に貢献。寒河江市
〃	いぶき （チャレンジ賞・団体）	地区の空き家を利用して「みんなの居場所 いぶきの家」を開設。施設の利用者である高齢者が共働き家庭の児童を放課後に見守る地域での新たな協働の形を提唱。酒田市
平成２５年度	サポート唯 （功労者・団体）	女性の自立支援を目的に、ＤＶ被害者の電話や面接相談を実施。ＤＶ防止セミナーや若年層へのデートＤＶ予防啓発のほか、女性の視点からの防災にも取組む。山形市
〃	佐藤菜津紀 （チャレンジ賞・個人）	学校の統廃合により薄れていく地域コミュニティを再生させるため、子どもと地域をつなぐ物語・ＤＶＤを制作し、賞を受賞するなど、得意分野を活かしながら、地域に根ざした活動を展開。真室川町
〃	鶴岡男女共同参画グループ「さんかく」 （チャレンジ・団体）	普通の若者が集まり、身近な問題や気づきをもとに多数のイベント企画。「男性のための妊活講座」など、男女双方を対象にした講座は、若い世代からも共感を得る。鶴岡市
〃	やまぶどうの会 （チャレンジ・団体）	閉鎖していた山荘の食堂を活用して主婦レストランをオープン。自らの喜びと収入を得る場をつくる。地元の食材を使ったメニューが人気となり、観光客の増、地域活性化にも貢献。庄内町
平成２６年度	山形女性医師ネットワーク（功労者・団体）	女性医師が育児等を理由に離職せざるえない現状を、個人的問題としてではなく社会的な課題として捉え、課題解決のため女性医師の仕事と生活の支援を精力的に展開。山形市
〃	田中　麻衣子 （チャレンジ賞・個人）	県外から山形を盛り上げる活動をしようとＧＬＹ　Ｐｒｏｊｅｃｔを立ち上げ、山形の商品をＰＲする企画等を成功させるなど、地域課題を具体的な取組みへと転換する活動を精力的に取組む。東京都
〃	朝日町食生活改善推進協議会 （チャレンジ・団体）	「男子厨房に入るべし」を合言葉とした男女の区別のない食の改善の推進に努め、「男の料理の実践講座」を 10 年にわたり継続実施しており、家庭の中にこそ、男女共同参画の基本があることを町内に発信。朝日町
〃	マリンバ・ピアチェーレ （チャレンジ・団体）	マリンバ演奏を通して、子育て支援や子供の情操教育等の社会貢献活動に積極的に実施。本県では例の少ない０歳から参加できるコンサートを開催し、育児中のお母さん方の不安感、負担感を解消すべく環境整備に取組む。山形市
平成２７年度	金澤　和子 （功労者・個人）	Ｈ１８年より５年間、県男女共同参画センター館長を務め、女性団体のネットワーク化など県の男女共同参画施策の実践に尽力し、館長退任後も県内各地域において男女共同参画やＤＶに関する講演等を行うなど、本県の男女共同参画の推進に大きく貢献。山形市
〃	棚田　美津子 （功労者・個人）	多年にわたり、特定非営利活動法人日本ＢＰＷ連合会山形クラブ会長として、本県の働く女性の社会的地位と職業水準の向上等に尽力。天童市
〃	子育て応援団「あんよ」 （チャレンジ・団体）	５０代、６０代の「真ん中ばあちゃん」（４世代家族で曾祖父母と子ども夫婦、孫がいる世代）が中心メンバーとなり、孫育て世代による、地域に根差した子育て支援事業を積極的に展開。真室川町
〃	庄内ちぇりあ （チャレンジ・団体）	男女共同参画の啓発活動に積極的に取り組んでおり、キャリアデザインや情報発信（チラシ作成）講座の実施や、ＤＶ被害を受けた女性のエンパワメントをテーマとした連続講座の実施など、多様な切り口から庄内地域における男女共同参画の促進及び女性のネットワーク化に取組む。庄内町

	受賞者名（敬称略）	功　　績
平成２８年度	井上　弓子 （功労者・個人）	平成２４年に山形商工会議所初の女性副会頭に就任。また一方で平成２１年から、「みやぎ・やまがた女性交流機構」の会長を務め、女性交流会をはじめ各種事業を通して女性ネットワークの形成や、女性が能力を発揮・向上できる環境づくりに尽力。山形市
〃	森谷　昭江 （功労者・個人）	新やまがたひゅーまんらいふフォーラムにて要職を歴任し、男女共同参画を推進してきた。さらに地域を元気にする会の事務局長として、女性の社会参画の促進に貢献。山形市
〃	キラッとＯ～ＲＡ☆ＤＡ （チャレンジ・団体）	真ん中ばんちゃん世代の女性が中心となり、最上に住むみんなが輝きながら助け合える地域社会を目指し、地域づくり活動に取り組んでいる。大蔵村
〃	やまがたイグメン共和国 （チャレンジ・団体）	基本理念である「やまがたイグメン５カ条」に沿った各種イベントや学習会の開催、ＳＮＳ等を活用した情報交換を通して、県内の子育て世代の父親のネットワーク化を図り、楽しみながら育児環境の向上に取り組んでいる。山形市
平成２９年度	齋藤　由美子 （功労者・個人）	一貫して男女共同参画に関する研究や学生への指導にあたるとともに、県等が主催する各種講座・講習会等で講演等を行い、男女共同参画の推進に大きく貢献してきた。山辺町
〃	瀬戸山　京子 （功労者・個人）	天童市初の女性議員として、女性も男性も差別なく働ける環境整備に貢献。さらに、天童地区において学童保育所の整備の促進のため指導的な役割を果たし、男性も女性も安心して働きに出ることができる環境整備に尽力した。天童市
〃	小野　卓也 （チャレンジ・個人）	妻が長年単身赴任で不在となる中、住職としての多忙な仕事と３人の子どもの子育てを両立している。また、自身の経験を生かし、県内各地でワークライフバランスや男性の家事・育児への参画に関する講演を数多く行い、男女共同参画の推進に向けた気運の醸成に大きく寄与している。長井市
〃	鶴岡ナリワイプロジェクト （チャレンジ・団体）	「自分の好きなこと×地域のために役立つこと」で、町の小さな課題を解決し、月３万円程度の利益を生み出すスモールビジネス（＝ナリワイ）を創るという新しい働き方のロールモデルを提案し、女性や若者が能力を発揮し、活躍できる環境づくりに取り組んでいる。鶴岡市
平成３０年度	阿部　典子 （功労者・個人）	教員としての経験に基づき、市内小中学校の児童生徒の男女混合名簿の普及に尽力。また、女性団体が主催する数多くの講演会で男性の育児参画の必要性や女性の政治参画の必要性を講演し、男女共同参画社会づくりに向けた機運の醸成に大きく貢献。山形市
〃	天童市男女共同参画社会推進委員会 （功労者・団体）	年２回のタウンミーティングや市民向けの講演会、地元高校生による演劇活動など、平成 13 年の設立以降、毎年、市民参加型の活動を実施し、男女共同参画社会づくりの機運の醸成に大きく貢献。天童市
〃	菅野　美奈子 （チャレンジ・個人）	在宅ワーカーの企業組合を立ち上げ、子育てや介護など制約がありながらも働く意欲のある県内の女性たちに対して、社会参画・自己実現の場を提供。県内でも先駆的な、在宅ワークと短時間勤務を合わせた労働環境の確立に貢献。山形市
〃	戸沢村消防隊 （チャレンジ・団体）	結成以来、訓練、研修、全国大会への出場を通して、地域の防災を担う大切な組織へ成長するとともに、家族、消防団をはじめ、広く住民の間で、男性の家事参画や応援の輪が広がり、地域における男女共同参画に向けた意識改革貢献。戸沢村
令和元年度	吉岡　信弥 （功労者・個人）	山形県医師会の勤務医（女性医師支援）担当役員として、「山形県女性医師支援ステーション」や「山形県ドクターバンク」の開設・運営に尽力し、出産や育児・介護等、家庭生活と仕事を両立できる勤務環境の整備と、県内医師の確保に大きく貢献。天童市
〃	佐藤　明子 （功労者・個人）	長年、河北町婦人会の会長、河北町内の女性団体の調整を図る「河北町女性団体連絡協議会」の会長を務めるとともに、河北町の男女共同参画計画の策定に際しては中心的な役割を果たし、河北町における男女共同参画の推進に大きく貢献。河北町

※　チャレンジ賞は平成１８年度から新たに設けたもの。

	受賞者名（敬称略）	功　　績
令和２年度	佐藤　茂枝 （功労者・個人）	長年、会社経営及び商工会議所活動に携わり、酒田商工会議所では女性初の副会頭を務め、女性の社会参画の促進に大きく貢献。また、情報誌「月刊ＳＰＯＯＮ」を創刊し、様々な分野で活躍している女性を掲載し、男女共同参画社会づくりと、女性活躍の気運醸成に大きく貢献。酒田市
〃	青柳　フヂ子 （功労者・個人）	外国人花嫁向けの日本語教室を設立（共同設立）。教室で学んだ女性の就職、開業に結びつくなど、地域における女性の社会参画促進に大きく貢献。また、村山市連合婦人会長、市で初の女性公民館長等を務め、女性リーダーとして活躍。村山市
〃	チェリア塾ネットワーク （チャレンジ・団体）	県男女共同参画センターの地域女性リーダー養成事業である「チェリア塾」の修了生が自発的に組織した、広域ネットワーク。イベントの企画・運営や、男性の男女共同参画に関する意識啓発のためのセミナー等を開催。また、チェリア塾に講師を派遣するなど、人材育成に貢献。山形市
令和３年度	髙井　晴子 （功労者・個人）	機械工具のメーカーで男性中心の職人の世界において、職場環境改善や女性技能士育成に積極的に取り組み、全国初の女性切削工具研削技能士を輩出するなど、女性の人材育成に大きく貢献。また、県男女共同参画センターチェリアで「働く女性のカウンセリングルーム」を開設するなど、女性の社会参画の促進に大きく貢献。河北町
〃	明日のたね （チャレンジ・団体）	多世代交流事業や男性が参加しやすい親子体験事業を開催し、地域を巻き込んで共に支え合う仕組みを構築し、広く発信。また、子育てだけでなく再就職や生き方について共に考える機会を提供するなど、女性に自信と挑戦する勇気を与えており、女性の活躍に貢献している。鶴岡市
令和４年度	井東　敬子 （功労者・個人）	好きなことで地域課題を解決する小さな起業「ナリワイ」を目指す「鶴岡ナリワイプロジェクト」を設立。講座を通して、多くの受講女性に「ナリワイ」という“新しい働き方”を提案し、多様な働き方で自分の能力を発揮するきっかけをもたらしている。さらに、女性が防災に役立つ情報交換や学び合いを行うＳＮＳコミュニティを立ち上げるなど、防災分野における女性の参画の促進にも貢献。鶴岡市
〃	山形ママコミュニティ ｍａｍａ*ｊａｍ （チャレンジ・団体）	山形在住の母親たちが山形での育児に関する悩み相談や情報交換等を通して相互の親睦を深めるオンラインコミュニティ活動を展開し、多くの母親の不安解消に貢献し前向きな意識の醸成に貢献している。山形市
令和５年度	栗山　恭直 （功労者・個人）	山形大学理学部教授として、学生の教育に携わりながら、自ら小中高等学校へ出向き出前講座等を実施するなどして、幼少期から化学の面白さに触れられる機会を提供し続けているほか、理工系の女性研究者や大学院生と交流できる機会を提供し、女子生徒の理工系進路選択や理工系職業に対する興味・関心を高め、次世代を担う理工系女性人材の育成に貢献。さらに、県内で活躍する女性研究者を山形大学のホームページや自身のラジオ番組でロールモデルとして発信し、女性研究者の活躍を推進。山形市
令和６年度	渡邊　節子 （功労者・個人）	男性が家事や育児に関わることの大切さに着目し、各地で開催される助産師相談やパパママ教室等において、数多くの父親・母親に対し、家庭生活や子育てにおける固定的な性別役割分担意識の解消や、男女が共に協力して子育てを行う大切さを伝える活動に長年取り組んでいる。山形市
〃	村山　恵美子 （功労者・個人）	県男女共同参画センター主催の地域リーダー養成事業「チェリア塾」の第１期生により構成される団体「桜桃（チェリア）の会」の中心メンバーとして、男女共同参画社会づくりに向けた機運醸成に貢献。また、チェリア塾修了生をメンバーとする「チェリア塾ネットワーク」の立ち上げとともに代表を務め、ネットワークメンバーの相互啓発やチェリア塾生への指導の場を創出し、男女共同参画社会づくりに資する多数の人材を育成してきた。山形市
〃	ヤマガタ防災・減災 Action! （チャレンジ・団体）	避難所運営や災害時における男女共同参画の視点や課題を学ぶ講座等を開催し、防災分野における男女共同参画の浸透と、同分野の意思決定過程における女性の参画を推進している。また、子どもを対象とした防災・減災の普及啓発を図るワークショップを開催し、小さいころから男女に関わらず防災に関心を持つきっかけを提供することで次世代育成にも貢献している。山形市

	受賞者名（敬称略）	功　　績
令和７年度	柿﨑　悦子 （功労者・個人）	県立高校の理科教員として女子生徒の理工系分野への進路選択を促進し、次世代を担う理工系人材の育成に貢献。さらに、校長退職後も男女共同参画に向けた意識改革を図るため、教員研修や県民・企業向け講座における講師を数多く務めるなど、精力的に活動し、男女共同参画の推進に貢献している。 米沢市
〃	特定非営利活動法人 Sisterhood （チャレンジ・団体）	若年女性に限定したフリースペースを本県で初めて開設するなど、地域社会の中で生きづらさや困難を抱えている女性に寄り添った様々な活動を積極的に展開し、女性の社会参画を後押ししている。 山形市